

2020 年 1 月 31 日
住友生命保険相互会社

給付金自動請求実現へ向けブロックチェーン技術活用の実証実験を開始

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 橋本 雅博、以下「住友生命」）は、TIS 株式会社（代表者 桑野 徹、以下「TIS」）、東京都八王子市を拠点とする北原病院グループの医療法人社団 KNI（代表者 北原 茂実）、および株式会社 Kitahara Medical Strategies International（代表者 檀 香）と協力し、給付金自動請求実現へ向けブロックチェーン技術を活用した実証実験※を行います。

本実証実験は、生命保険会社向けに業務効率化の IT ソリューションを提供する TIS と、情報通信技術による医療の高度化を目指す北原病院グループの協力を得て実施します。本実証実験を踏まえ、今後ブロックチェーン技術を活用した給付金自動請求の仕組みによって、生命保険請求手続きにおける従来の請求書や診断書等の取り寄せが不要となり、医療機関・保険会社とのやり取り等が大幅に簡素化され、利便性が格段に向上することが期待できます。

※本実証実験では、世界各国で金融・保険等様々な分野で利用されている R3 社の「Corda（コルダ）」を採用しています。「Corda」はブロックチェーンの特長である堅牢性を持ちながら、限定的な情報開示・共有化ができるため、医療情報等のセンシティブ情報を扱うことが可能となっています。

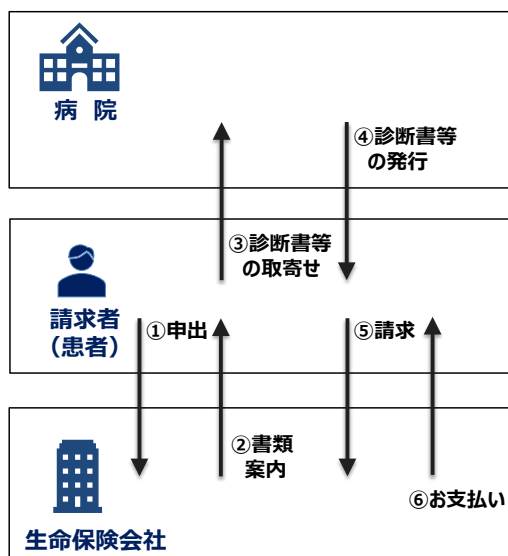
1. 実証実験の概要

- | | |
|------------|--|
| a. 目的 | 給付金自動請求の実現可能性の検証 |
| b. 内容 | 複数の医療機関・生命保険会社間で、ブロックチェーン上に登録する給付金請求の事前同意書や医療情報等を共有する仕組みについての検証 |
| c. 実施期間 | 2020 年 2 月 12 日～3 月下旬 |
| d. 参加企業・団体 | TIS 株式会社
医療法人社団 KNI
株式会社 Kitahara Medical Strategies International
住友生命保険相互会社 |

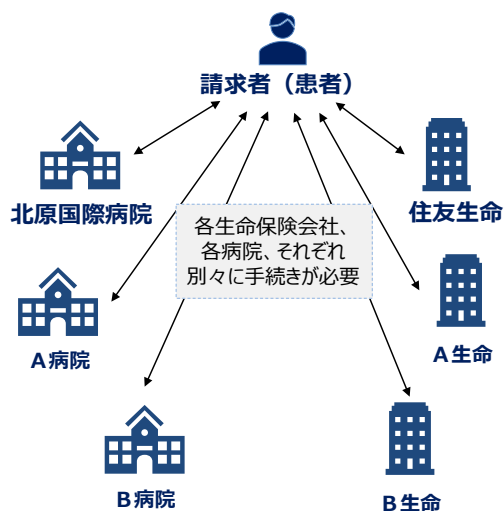
2. 将来の給付金請求のイメージ（従来型と今回の実証実験の比較）

【従来型の給付金請求】

- ・ 病院・患者・保険会社間で個別に煩雑なやりとりが必要

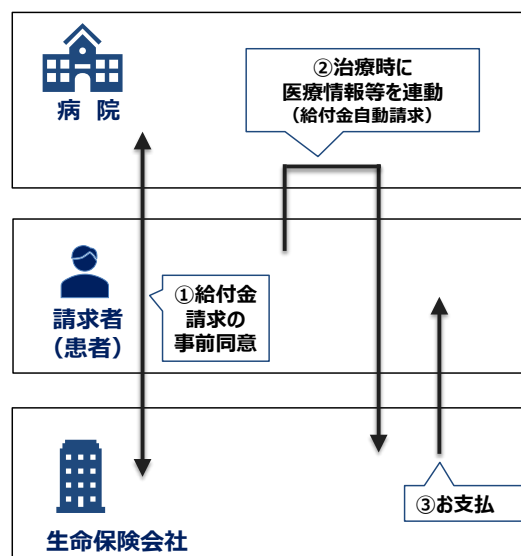


- ・ 別々に請求手続きを行う必要がある

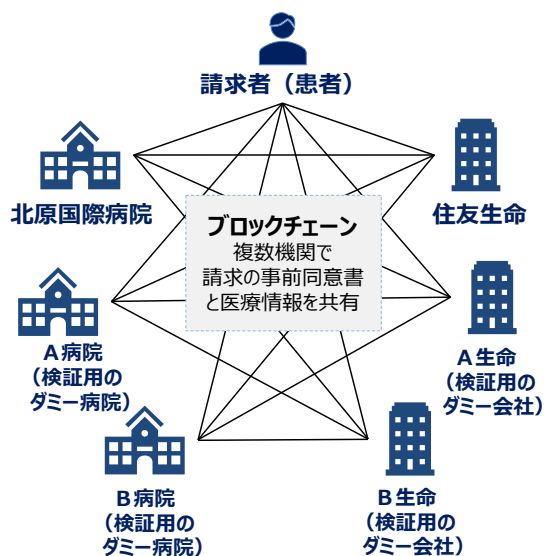


【今回の実証実験（給付金自動請求）】

- ・ 大幅に簡素化・利便性が向上



- ・ ブロックチェーン技術を活用し複数機関で情報を共有することで個別の手続きが不要



■TIS 株式会社について

設立年月 : 2008 年 4 月

本社所在地 : 東京都新宿区西新宿 8 丁目 17 番 1 号

代 表 者 : 桑野 徹

事業概要 : 中国・ASEAN 地域を中心としたグローバルサポート体制を持ち、金融、製造、流通、サービス、公共、通信など様々な業界で、SI・受託開発に加え、データセンターやクラウドなどサービス型の IT ソリューションを提供。

■医療法人社団 KNI について

設立年月 : 1995 年 1 月

所 在 地 : 東京都八王子市大和田町 1-7-23

代 表 者 : 北原 茂実

事業概要 : 東京都八王子市を拠点に、脳と心臓に関わる疾患に対して予防、救急・手術からリハビリテーション・在宅まで一貫した最先端の医療を提供（急性期病院である北原国際病院は、脳血管疾患の取扱数において東京都で高い実績を誇る）。

■株式会社 Kitahara Medical Strategies International について

設立年月 : 2013 年 6 月

本社所在地 : 東京都八王子市大和田町 4 丁目 1 番 18 号 北原 RD ビル 3F

代 表 者 : 檀 香

事業概要 : 国内外にて医療・健康・生活に関わる事業の開発・運営や、医療の輸出事業を行う。国内では患者の「命・生活・意思」を守る IT システムを基盤とした取り組みを推進。実証実験においては、事前同意に基づく給付金自動請求の情報連携方法およびサービスフロー設計検討に参加。

以上